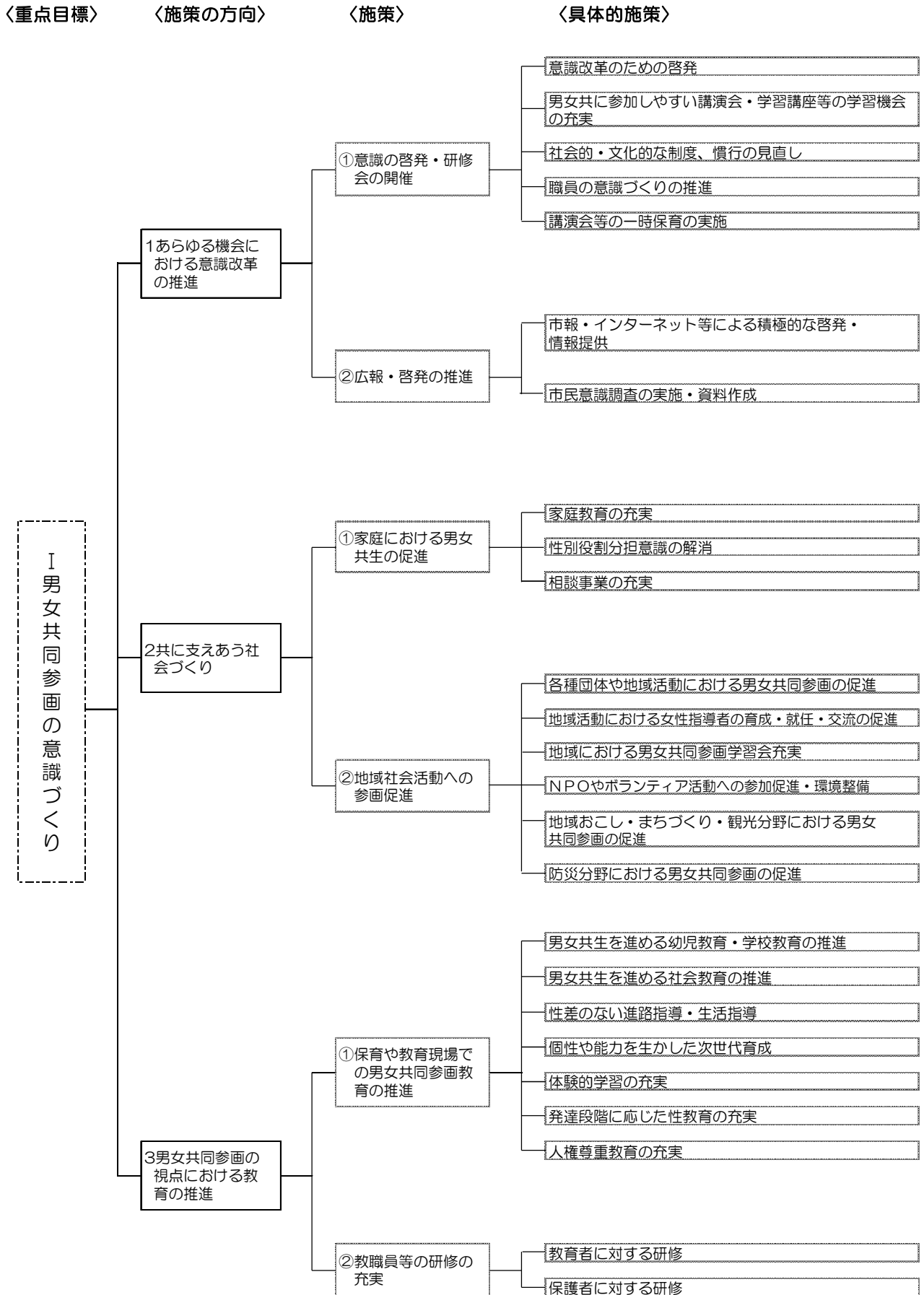


I 男女共同参画の意識づくり



## 重点目標Ⅰ 男女共同参画の意識づくり

### 施策の方向1 あらゆる機会における意識改革の推進

#### <現状と課題>

男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが全国的に進められていますが、「男女共同参画」という言葉自体は、知られるようになったものの、その考え方が十分に知られ、理解されるまでには至っていないのが現状です。また、性別・年代によって、その考え方、とらえ方には差があります。そのことにも配慮しながら、「男女共同参画」の趣旨や必要性を幅広く市民に知らせ、理解をうながしていくことが重要です。

さらに、男女共同参画社会に向けた取り組みは、市民生活に幅広く関わるものであり、行政が主体となって進めていくだけではなく、すべての市民が意識をもって取り組んでいくことが求められています。市民一人ひとりが、このプランに対する意識や関わりをもちながら、日常生活やさまざまな活動の場を通じて、積極的に取り組んでいくよう呼びかけていくことが必要です。

#### <施策>

##### ① 意識の啓発・研修会の開催

##### 主な担当課

意識改革のための啓発を行います。	市民生活課 生涯学習課（公民館）
男女共に参加しやすい講演会・学習講座等の学習機会の充実を図ります。	市民生活課 生涯学習課（公民館）
人権を尊重するため社会的・文化的な制度、慣行の見直しについて検討します。	市民生活課・総務課
職員の男女共同参画に関する意識づくりの推進を図ります。	人事課・市民生活課
育児中でも参加しやすいように講演会等の一時保育を実施します。	市民生活課 生涯学習課（公民館）

##### ② 広報・啓発の推進

##### 主な担当課

男女共同参画について市報・秩父市ホームページ等による積極的な啓発・情報提供を行います。	市民生活課 秘書広報課
---	----------------

#### 市民のみなさんは…

- ・積極的に学習活動に参加して、関心を持ちましょう。
- ・日常生活の中でお互いに思いやり、認め合いながら責任も分かち合う意識を養いましょう。

## (重点目標 I)

### 施策の方向2 共に支えあう社会づくり

#### <現状と課題>

男性、女性の生き方を固定的な考えでとらえようとする意識、いわゆる固定的な性別役割分担(\*2)

意識が、さまざまな面で今なお根強く存在しており、男女共同参画を推進する上で大きな妨げとなっています。最近はこうした考え方に同感しない人は増えてきていますが、「社会通念・慣習・しきたり」や「職場」、「地域社会」、「家庭生活」、「防災・災害現場」などの分野において、男女が平等ではないと感じている人はまだまだたくさんいます。

これらは無意識のうちに定着していることが多く、性別や年代で差があることなどに十分配慮しながら解消・改善を図っていくことが重要であり、幅広い広報活動により家庭や地域社会においても理解を進める必要があります。

#### <施 策>

##### ① 家庭における男女共生の促進

##### 主な担当課

男女平等の視点に立った家庭教育の充実を図ります。	生涯学習課（公民館） 保健センター
父親の子育てへの参加を促す講座等を企画し、性別役割分担意識の解消を図ります。	市民生活課 生涯学習課（公民館）
女性相談・法律相談・消費生活相談・市民相談などの各種相談事業の充実を図ります。	市民生活課

##### ② 地域社会活動への参画促進

##### 主な担当課

各種団体や地域活動における男女共同参画の促進を図ります。	市民生活課・関係各課
地域活動における女性指導者の育成・就任・交流の促進を図ります。	市民生活課・関係各課
地域における男女共同参画学習会の充実を図ります。	市民生活課・生涯学習課
地域おこし・まちづくり・観光分野における男女共同参画の促進を図ります。	市民生活課・関係各課
防災活動への女性の参加を促し、女性の視座を取り入れることで、防災分野における男女共同参画の促進を図ります	危機管理課・市民生活課

#### 市民のみなさんは…

- 家庭や地域で「女だから」「男だから」と、役割を決めていないか見直しましょう。
- 仕事と家族的責任がバランスよく担えるよう話し合しましょう。

(\*2) 男性・女性という性別を理由として、役割を固定的に分けるという考え方です。「男は仕事、女は家庭」というように性別によって、その役割が固定された状態をいいます。

## （重点目標Ⅰ）

### 施策の方向3 男女共同参画の視点における教育の推進

#### ＜現状と課題＞

学校や家庭は、未来を担う子供たちを育てる最も基本的な場所です。学校や家庭で男女平等に関する理解を深めることは、男女共同参画を推進するうえで大切なことです。

教育の場では男女平等教育が進められていますが、何気ない言動により無意識のうちに性別役割分担意識を植えつけていることがあります。これらは、子ども達の個性や能力、進学希望に影響を及ぼすこともあるため、個性を尊重し、男女平等の視点に立った教育を行うことが重要となっています。

男女共同参画を推進する中で、子どもの教育に関わる人々の理解と意識啓発を行いながら、一人ひとりのよさや可能性を認めあう教育を、より一層充実させていくことが必要です。

#### ＜施策＞

##### ① 保育や教育現場での男女共同参画教育の推進

##### 主な担当課

男女共生を進める幼児教育・学校教育の推進を図ります。	学校教育課・こども課
性差のない進路指導・生活指導を行います。	学校教育課
個性や能力を生かした次世代育成を行います。	学校教育課・こども課
人権感覚育成プログラムを活用し、体験的学習の充実を図ります。	学校教育課
発達段階に応じて、人権尊重に基づいた性教育の充実を図ります。	保健給食課
人権尊重教育の充実を図ります。	学校教育課

##### ② 教職員の研修の充実

##### 主な担当課

男女平等教育に関する教職員の研修の充実を図ります。	教育研究所
男女平等教育に関する保護者の研修の充実を図ります。	学校教育課

#### 保護者のみなさんは…

- 個性を尊重し、男女平等の視点に立った保育・教育を理解し、家庭でも話し合ひましょう。

#### 教育関係者のみなさんは…

- 学習や進路に対して、個性や人権を尊重した指導をしましょう。